

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/06/16号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



中東情勢緊迫化で急伸、一時70ドル台後半へ

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台前半まで急伸する展開になった。カナダの森林火災、米中通商環境の改善期待を背景に60ドル台中盤までじり高の展開になっていたが、日本時間6月13日朝にイスラエルがイランの核施設、軍事施設に対する攻撃に踏み切ると、77.62ドルまで急伸して1月21日以来の高値を更新した。その後は短期筋の利食い売りで73ドル台前半まで上げ幅を削る展開になったが、前週比では8.40ドル高（13.0%高）と急伸している。

米国とイランの核協議が難航する中、イスラエルは従来から協議を打ち切って軍事的制裁を行うことを主張していた。トランプ米大統領は核協議が継続中なことを理由に自制を呼びかけていたが、15日に予定されていた核協議を待たずに、イスラエルが攻撃に踏み切った。当然にイランは反撃しており、両国の間では攻撃の応酬が続いている。13日時点では原油供給に大きな混乱は生じていないが、先行き不透明感からリスクプレミアム加算が促された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（6月6日時点）は、原油が前週比364万バレル減、ガソリンが150万バレル増、石油精製品が125万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

中東情勢によってブレ幅の大きい地合に、原油供給に実害あるか

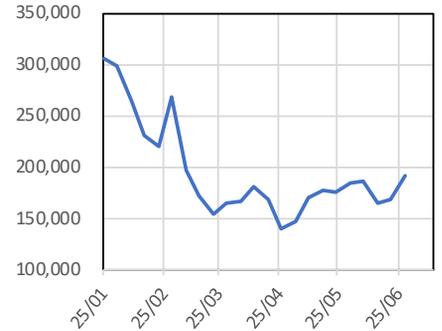
中東情勢が一気に不安定化したことを受けて、地政学リスクの消化が最優先される地合になる。焦点は、原油供給に実害が生じるか否かになる。イスラエルとイランの両国が軍事衝突しても、原油供給に対する影響が軽微であれば、原油価格は比較的短時間で急伸前の価格水準に戻す傾向にある。昨年も二度にわたって武力衝突が発生したが、原油供給に対する影響が生じていないことを確認すると、供給リスクのプレミアム剥落の形で急反落している。しかし、今回はイスラエルとイランの双方が互いに原油・ガス関連施設に対する攻撃を開始しており、高いレベルの緊張状態が、原油相場の急伸を促すリスクを高めている。イランの主要石油ターミナルなどが攻撃を受け、同国産原油輸出が大きく落ち込むと、短期的には80ドル台にレンジを切り上げ、さらにパニック状態に陥ると90ドルを試すリスクも完全には排除できなくなる。

また、イランがホルムズ海峡封鎖といった対抗策を講じると、イラン産のみならずペルシャ湾岸諸国からの原油輸出が止まる可能性もある。その際には、90ドル、100ドルといった価格水準まで噴き上げる可能性も排除できない。

今後の展開は読みづらい状況が続くが、イラン産原油供給への実害に注目して、値上がりリスクがどの程度残されているのかを探る展開になろう。イスラエルとイランの動向によって、上下双方に値が飛びやすい環境になる。

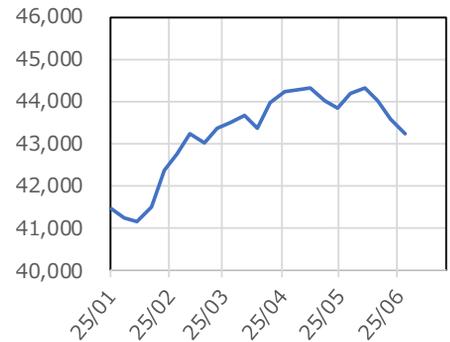
なお、6月16日には石油輸出国機構（OPEC）、17日には国際エネルギー機関（IEA）の月報が公表される。改めて需給緩和見通しの強化につながるような動きがみられるかにも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



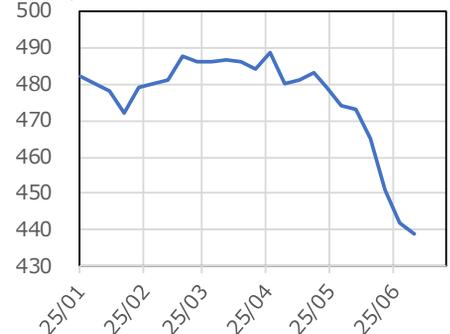
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

